

悲しみの代わりに喜びの油を 憂いの心の代わりに賛美の外套を(イザヤ61:3)

The oil of joy for mourning, the garment of praise for the spirit of heaviness. (Isaiah 61:3)

Freudenöl statt Trauer, ein Ruhmesgewand statt eines verzagten Geistes (Jesaja 61,3)

Aceite de gozo en lugar de luto, manto de alegría en lugar del espíritu angustiado. (Isaias 61:3)

*Happy New Year
2022!*



2021年は、3年ぶりにチャリティー・コンサートを開催し、ミャンマーの難民、困窮者に支援を届けることができました。皆さまのお祈りとお支え、ご協力に心から感謝いたします。新しい年に、主の豊かな祝福が皆さまにありますように!

工藤篤子&AKWM スタッフ一同

Atsuko Kudo Mail Magazine 248

2022.01.01 新年のご挨拶

2022年、明けましておめでとうございます。

AKWMも皆さまのお祈りとご支援に支えていただきながら、感謝とともに新しい年を迎えることができました。心からの感謝とお礼を申し上げます。

●12月の報告

昨年12月は、札幌聖書キリスト教会クリスマス・コンサート、鳥取教会クリスマス礼拝賛美奉仕、キャロリング、主イエス・キリスト教会クリスマス礼拝賛美奉仕をさせていただきました。鳥取教会では11人、主イエス・キリスト教会では約10人が、メッセージ後、牧師先生の招きに応じて、信仰の表明をされました。どちらもその多くが高齢者の方々でした。普通ご高齢者が決心されるのは容易なことではないと思いますが、イエス様の来臨が近いからなのでしょう、地上に残された日々が少ない方々をまず救おうとなさっている主のご愛と熱心を感じました。

本当に、今、熱心に福音を宣べ伝えて行かなければいけないと思われています。南海線と地下鉄を結ぶ天

下茶屋駅入り口でのキャロリングでは、9人の聖歌隊が賛美する間、他の数人が道行く人にトラクトを配布しました。何人かの方々が、「教会はどこにありますか？」と聞いていたそうです。聖歌隊の賛美も、通行人がスマホで録画する光景が見られました。心を込めて歌った降誕賛美、後で聞かせる方々に、また受け取られたトラクトのみことばと証しを通して、御霊が働いてくださいますようにと祈っています。

近隣の牧師先生が、「教会が路傍伝道、トラクト配布、キャロリングなどの伝道活動をする、直接的にその方々が教会に繋がられなかったとしても、主が新しい方々を教会に送ってくださる。教会がみ言葉を世に拡散する働きを主が喜んでくださり、教会を祝福してくださるのだと思う」、とおっしゃっていました。イエス様の来臨が迫っている今、人々の救いのために、このような伝道活動をして行く大切さを思わされています。

●ミャンマー支援

12月末日まで受け付けましたミャンマー・チャリティー献金、多くの愛のささげ物が捧げられました。お捧げくださった方々、お祈りくださっている方々に、心からのお礼を申し上げます。数日後になりますが、最終集計が出ましたらお知らせいたします。あちらは軍の暴行が増々エスカレートし、難民、困窮者は、貧困の極みに達しています。どうぞ続けてお祈りください。

●近況報告と今年の抱負

昨年クリスマスから札幌の実家に滞在し、父・妹と幸いなクリスマス、年末・年始を過ごしています。ただ、昨年12月中旬から雪が多く、汗だくの雪かきと共に新年が始まりました。また、こちらでは今、昨年2月から学んできた「十字架の七言」を学び返しています。新たな開眼、発見とともに、感謝と感動をもって、主の贖いのみわざと神の愛を心に刻み付けています。

「**悲しみの代わりに喜びの油を、憂いの代わりに賛美の外套を**」(イザヤ 61:3) 与えてくださった主に心からの感謝と賛美をささげます。今年も、イエス様の十字架の贖いを通して与えてくださった大いなる喜びの福音、御国の福音を、賛美と共にお伝えして行きたいと思っています。

皆さまにとって、2022年が、主の豊かな恵みと祝福に溢れる一年となりますように！

本年もどうぞよろしく願いいたします。

主にありて

Atsuko Kudo

